

JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS GD

当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の
「生の声」をご紹介します!

取材：営業部 営業企画推進課

垂井町役場 様

垂井町役場総務課の渡部さんに、2021年10月に導入されたORPHIS GD7330についてお話を伺いました。



役場のカラー印刷を身近にしたORPHIS

当役場では、2015年に初めて導入した前期種EX7250の時から、役場内の資料や現場・地図などの写真資料、町民向けの資料・案内などをORPHISで印刷しています。導入当初から、資料作成の利便性が高いこともあり上記資料に加えて少部数のチラシなど、各課で印刷物が多岐に渡ります。使用が増えたこともあって、使用6年で耐久枚数を超えていたことから、今回新しくORPHIS GD7330が2021年10月に入替導入しました。

最近では、ワクチン接種の案内もORPHISで印刷しています。重要案内資料であるため、視覚的にもより分かりやすく町民の方に伝えられるような内容にしたいと、注意事項やイラストなどはカラーで印刷し、一目でワクチン接種案内と分かるような印刷物に工夫をしました。前機種(EX7250)の時からフルカラーコスト約1.56円とカラー印刷が経済的で安く、役場としてもカラー印刷のハードルが大幅に解消されました。現機種(GD7330)は、前機種よりもさらにグレードアップしてフルカラーコストが低コスト(※1.44円)で印刷できるようになったことで、一層カラー印刷をしやすい環境になっています。コストを気にするよりも、町民への伝わりやすさに重点を置いて案内やチラシを作成出来るのは大変うれしいですね。新機種より5色インク搭載になったため、色味・発色の精度が上がりましたが、コストが前よりも安くできるため、現場写真・地図関係をカラーで印刷する事が多い当役場では、細かい部分もしっかりと確認が出来、かつ鮮明に印刷してくれるORPHISは大変助かっていますよ。



コスト・綺麗さの観点から、職員の中でもカラー印刷=ORPHISという意識が強いですね。カラー印刷をする場合はデスクとORPHISとの場所が離れていてもORPHISで印刷をしに来る方が多いです。当役場の印刷業務には、ORPHISは欠かせない存在になっていますね。

働き方改革に一躍担うORPHIS

会議資料や議事案作成等では、両面50ページを50部印刷し、ホチキス留めをしなければならないのですが、コピー機だとコストがかかるし、印刷機だと仕分けや後処理まで手作業で行っていたら時間と労力がかかってしまう。ORPHISはコストも安く、他の機種と比べて圧倒的に印刷スピードが速いことや、ホチキス留めなどの後処理を高速かつ自動で行ってくれるため、資料作りの作業負担の軽減につながっています。私はずっとORPHISを使ってきているので、もしも無くなったら…と想像しただけでも恐いですね。毎年の秋には予算提出時期に入るため、役場全体が資料作成でかなり立て込んできますので、そういった時期にもORPHISはフル稼働です。忙しい時にこそ、ORPHISを活用して印刷作業にかかっていたはずの時間を他の業務へ充てる事が出来、役場内の効率化を図ることが出来ています。

細かな点では、PCから印刷データをORPHIS本体にボックス保存し、いざ出力しようとした際に本体上にサムネイルが表示出来るため、自分が送ったデータをすぐ見つけることが出来ます。役場内は使用者が多いため、複数の使用者が1台の機械を使う際は印刷データをタイトル表示で探すよりも時間が省けて助かっています。使用者の声を反映してこのような細かい箇所も常にアップデートしてくれるORPHISはさすがです。

サプライ供給・機械メンテナンスについてもメーカーと販売店さんが連携し対応が非常に速いので使用者側は安心して使えています。ORPHISはまだまだ活用用途の幅が広いと思っていますので、今後もより一層垂井町への地域貢献に繋げられる様、ORPHISの活用提案をして頂けることに期待しています。



営業担当者の声

ORPHIS GD7330を導入いただきありがとうございます。

垂井町役場様のお役に立てればと思い、前機種EX7250からスペックアップの提案を致しました。

今後もORPHISを通して笑顔になっていただけるよう、誠心誠意対応致します。



担当営業：井戸 英明